

子どもたちの「やりたい！」を公民館運営に生かす／

子ども館長プロジェクト

期間 令和6年6月～令和7年2月まで、
月1回(全7回)

子ども館長会議

●公民館をもっと素敵な居場所にするためのアイデアは？

- ・土気駅から路面電車を走らせよう。
- ・違う学校の子と交流してみたい。
- ・夏休みの自由研究相談会

●文化祭で発表したいことは？

- ・クイズ(土気駅の歴史)
- ・ミニチュア作品の展示
- ・ダンスや歌など、自分たちも発表してみたい。



サークルと交流



↑ハーモニカクラブの演奏を鑑賞後、一緒に歌いました。

目的 公民館で子どもが主体的に参加できる機会をつくり、「だれもが集い・学び・楽しめる公民館」にする。

対象 近隣小学校の1～6年生 8名

内容 月1回公民館に集まり、子ども館長会議・サークルと交流・体験活動を重ねる。公民館文化祭の中止により、「子ども館長フェスティバル」を企画・運営した。自分たちで体験コーナーを運営、歌や楽器演奏を披露、ハーモニカクラブとの共演を果たした。

成果

- ① 子どもたちとの関わりにより、シニアが元気になった。
- ② 公民館の魅力子どもたちの言葉で話し合った。
- ③ 公民館主催事業への関心が高まり、地域の方々から、応援の声が届くようになった。
- ④ 日常的な子どもの来館が増え、子どもたちの居場所として、認識されつつある。

課題・展望 スケジュールや予算面で、子どもたちの発想を十分に実現することはできなかった。「子ども館長プロジェクト」を継続的に取り組み、そのなかで、今後は、公民館のPR大使としての役割を担うような活動を推進していきたい。

土気公民館
子ども館長
フェスティバル
2024. 12. 21(土) 10:30～12:00 土気公民館

12月21日(土)
■子ども館長ふれあい村
(モルック体験や昔遊びコーナー、ミニチュアパンづくり)

■歌と楽器の演奏・
ハーモニカクラブと共演

子ども館長の声

子ども館長フェスティバルの企画・運営



↑歌に合わせて「エイ ヤー！」の掛け声で会場に一体感が生まれました。

■子ども館長に参加してよかったこと

- ・話し合ってみんなで決めたのが楽しかった。
- ・趣味の作品を披露したり、誰かに教える機会がもらえて嬉しかった。
- ・公民館を通して、地域のことが少しわかった。

■次年度の子ども館長で挑戦してみたいこと

- ・公民館のお仕事を体験できるとおもしろいと思う。
- ・公民館に人を集める方法などを考える時間を持つ。
- ・もっと多くのサークルと交流してみたい。
- ・サークル体験・取材報告をまとめてPRする。
- ・周辺まち歩き(昔の様子などの説明付き)
- ・中学生になっても、ボランティアとして関わりたい。